



HANAMAKI  
CITY

# 消防年報

令和4年版

岩手県花巻市消防本部

令和5年刊行



# は し が き

この年報は、令和4年中における花巻市の消防業務に関する統計を収録し、消防現勢については令和5年4月1日現在の統計を掲載いたしました。

多くの方々に花巻市消防本部の現況をご理解いただき、参考資料として広く活用していただければ幸いに存じます。

令和5年7月

花巻市消防本部



# 花巻消防の早見表

## 管轄面積・人口・世帯数



管轄面積 908.3 k m<sup>2</sup>  
人口 91,708 人  
世帯数 38,677世帯

(R5. 4. 1現在)

## 消防組織



花巻市消防本部  
├─ 花巻中央消防署  
│ ├─ 東和分署  
│ └─ 花巻温泉分遣所  
├─ 花巻南温泉分遣所  
└─ 花巻北消防署  
    └─ 大迫分署

## 職員数



条例定数 151人  
職員実数 149人  
(うち救急救命士 49人)

(R5. 4. 1現在)

## 消防予算



令和4年度当初予算額  
1,648,012千円

令和5年度当初予算額  
1,786,441千円

## 消防団組織



1本部 23分団 121個部

(R5. 4. 1現在)

## 消防団員数



条例定数 1,850人  
団員実数 1,599人

(R5. 4. 1現在)

## 消防ポンプ自動車等



水槽付きポンプ車 6台  
普通ポンプ車 1台  
化学車 1台  
水槽車 2台

## 特殊車両等



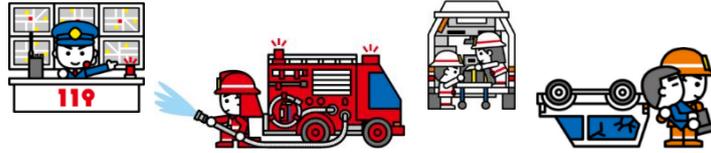
救助工作車 1台  
はしご車 1台  
後方支援車 1台  
指揮車 2台  
広報車 2台  
資器材搬送車 2台

## 救急車両



高規格救急車 8台  
(予備車1台含む)

### 119番通報受理、災害発生件数



119番通報受理	6,375件
火災	33件
救急	4,460件
救助	44件

(R4. 1. 1～R4. 12. 31)

### 防火対象物、危険物施設数



防火対象物	3,719施設
危険物施設	450施設

(R5. 3. 31現在)

### 少年、幼年消防クラブ



少年消防	9クラブ	275名
幼年消防	35クラブ	1,983名

(R5. 4. 1現在)

# 目 次

## 花巻消防の早見表

	頁
1. 花巻市消防本部管内の概況	1
2. 花巻市消防本部発足とあゆみ	2、3、4、5、6、7、8

## 総 務 編

1. 花巻市消防本部の組織	9
2. 花巻市消防本部事務分掌	10・11・12
3. 管内の現況	13・14
4. 消防本部、署所の位置及び管轄区域	13・14
5. 消防予算	15
6. 消防庁舎の概要	16
7. 職員の階級別配置状況	17
8. 職員の階級別平均年齢、平均勤続年数	18
9. 職員の年齢別在職年数	19
10. 職員の階級別在職年数	20
11. 職員の階級別年齢状況	21
12. 職員の免許、資格等取得状況	22
13. 職員の教養訓練の状況	23
14. 職員表彰の状況	24
15. 令和4年度中の主要行事	25

## 予 防 編

1. 予防概要	26
2. 署所別政令防火対象物数	27
3. 消防用設備等設置状況	28
4. 防火管理者を置かなければならない防火対象物及び防火管理者数	29
5. 政令防火対象物等査察実施状況	30
6. 建築確認同意事務状況	31
7. 建築確認同意及び通知件数の推移	31
8. 各種届出状況	32
9. 類別危険物製造所等施設数	33
10. 署所別製造所等施設数	33
11. 危険物関係事務処理状況	34
12. 倍数別危険物製造所等施設数	35

## 警 防 編

1. 消防車配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
2. 出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
3. 署所別消防水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・37・38
4. 消防機械の現有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・37・38
5. 主な資機材保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
6. 用途別、署所別中高層建築物設置状況・・・・・・・・40
7. 開発行為に伴う消防水利同意状況・・・・・・・・40
8. 消防相互応援協定等締結状況・・・・・・・・・・41

## 通 信 指 令 編

1. 119番通報受付状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・42・43
2. 市民案内状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
3. 気象観測状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

## 火 災 統 計

1. 火災概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
2. 火災の分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
3. 月別、時間帯別火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・47
4. 火災被害状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
5. 曜日別、覚知別火災状況・・・・・・・・・・・・・・・・49
6. 覚知別火災件数、被害状況・・・・・・・・・・・・・・49
7. 月別、署所別火災状況・・・・・・・・・・・・・・・・50・51
8. 用途別火災状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52・53
9. 原因別火災状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
10. 建物火災出火箇所別火災件数・・・・・・・・・・・・55
11. 1日及び1件あたり火災状況・・・・・・・・・・・・55
12. 過去の大火記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56・57
13. 特殊な火災及び災害等・・・・・・・・・・・・・・58・59・60・61・62

## 救 急 救 助 統 計

1. 月別救急活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
2. 曜日別救急活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
3. 時間帯別救急活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
4. 事故種別々傷病者搬送状況・・・・・・・・・・・・・・65
5. 傷病程度別搬送人員数・・・・・・・・・・・・・・66
6. 過去5年間出動件数推移・・・・・・・・・・・・・・67

7. 発生場所別搬送人員数	67
8. 現場到着所要時間	68
9. 病院収容所要時間	68
10. 不搬送理由別件数	69
11. 救急隊員の行った応急処置件数	70・71
12. 収容医療機関別搬送人員	72
13. 応急手当普及啓発状況	73
14. 救助活動状況 月別	74
15. 事故種別々出動・活動件数	74
16. 時間帯別救助活動件数	75
17. 過去5年間推移 救助活動件数	75

## 消防団・協力団体等

1. 管内消防団の組織	76
2. 階級別消防団員数	76
3. 在職年数別消防団員数	76
4. 年齢別消防団員数	76
5. 階級別報酬年額	76
6. 消防団の消防ポンプ自動車等配置状況	77
7. 消防団出動状況	77
8. 歴代消防団長	77・78・79
9. 少年消防クラブの状況	80
10. 幼年消防クラブの状況	81



## 1. 花巻市消防本部管内の概況

平成 18 年 1 月 1 日に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の 1 市 3 町の合併に伴い、新「花巻市」が誕生しました。

当地は、岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、面積 908.39k m<sup>2</sup>を有しており、県都盛岡市から約 30 km、仙台市から約 150 km、東京からは約 500 km の位置にあります。

地形は、西に奥羽山脈、東に北上高地、その間を流れる北上川には西から豊沢川、瀬川、葛丸川、東から猿ヶ石川、稗貫川が合流し、北上川を中心として広がる流域の平野には穀倉地帯が形成されています。

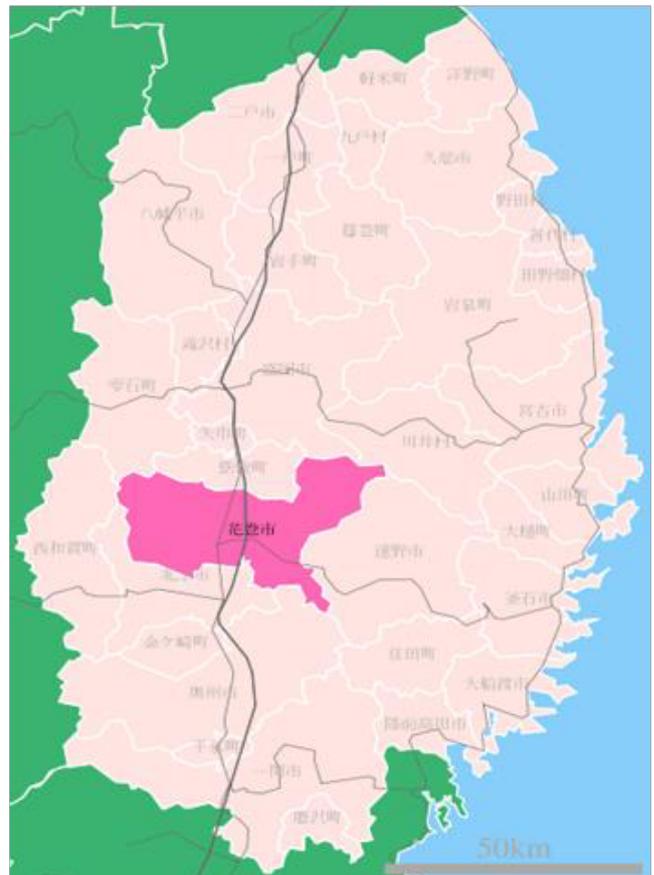
気候は奥羽山脈、北上高地に囲まれているため内陸性の平穏な気候です。

市内の交通は、本県唯一の空港のいわて花巻空港が所在し、札幌空港まで約 55 分、名古屋（小牧）空港まで約 75 分、大阪（伊丹）空港まで約 90 分、福岡空港まで約 130 分と、北海道・中部・近畿・九州を結ぶ路線が整っています。道路は東北縦貫自動車道とこれと平行に走る国道 4 号、同 456 号、本県内陸部と太平洋沿岸部を結ぶ国道 283 号、同 396 号、そして東北横断自動車道が開通しました。鉄道は東京まで約 160 分の東北新幹線をはじめ東北本線や釜石線と、空路、高速道、鉄道の三拍子そろった高速交通の要衝になっています。

また、北上川を中心に肥沃な土壌の平野が広がり県内有数の穀倉地帯を形成し、園芸作物においても地域の特性を生かした野菜、果樹栽培等の生産が盛んに行われています。

観光においても、花巻温泉郷、花巻南温泉峡、東和温泉など多くの温泉を有しており、県内はもとより、高速交通網を活用して県外からも多くの観光客が訪れる保養地になっています。

さらに、雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズの詩人宮沢賢治生誕の地、また詩人で彫刻家の高村光太郎が晩年を過ごした「花巻」。貴重な高山植物の生育地として知られる早池峰山と神楽とワインの里「大迫」。日本三大杜氏の一つである南部杜氏発祥の地「石鳥谷」。近代美術の先駆者萬鉄五郎の誕生の地であり、ウォータースポーツの盛んな田瀬湖を有する「東和」など、花巻市は豊かな自然、歴史、文化を持ち、これらを基盤として活発な交流を展開させ、積極的に地域の発展整備が続けられています。



## 2. 花巻市消防本部発足とあゆみ

### (1) 常備消防機関の沿革

年 月	記 事
昭和 27 年 4 月	花巻町消防団常備部が誕生
昭和 29 年 4 月	花巻町、湯口村、湯本村、矢沢村、宮野目村、太田村の 1 町 5 ヶ村が合併し花巻市となり、消防本部及び消防署を設置
昭和 30 年 7 月	笹間村を合併する
昭和 33 年 3 月	消防庁舎を城内 1 - 4 3 に新築
昭和 43 年 12 月	救急業務を開始
昭和 48 年 6 月	花巻空港の警備を開始
昭和 49 年 3 月	花巻市消防本部及び消防署廃止

### (2) 花巻地区消防事務組合の発足とあゆみ

- 組合の組織 花巻市、石鳥谷町、東和町、大迫町の 1 市 3 町をもって組織する
- 組合の共同処理する事務 関係市町の消防に関する事務、ただし消防団に関する事務及び消防水利に関する事務を除く

年 月	記 事
昭和 49 年 4 月	1 本部、1 署、3 分署の組織で発足 石鳥谷町、東和町、大迫町に分署開設、消防、救急業務開始 職員 13 名採用 (条例定数 99 名、実員 66 名)
8 月	職員 12 名採用 (条例定数 99 名、実員 78 名)
昭和 50 年 3 月	石鳥谷、東和、大迫の各分署庁舎落成
4 月	職員 6 名採用 (条例定数 99 名、実員 84 名)
5 月	消防相互応援に関する協定 (県内 14 消防本部)
昭和 51 年 4 月	職員 6 名採用 (条例定数 99 名、実員 90 名)
8 月	消防庁舎 (消防本部、署) 建設事業着手
昭和 52 年 4 月	職員 10 名採用 (条例定数 99 名、実員 99 名)
11 月	花巻温泉分遣所庁舎落成、業務開始 東北自動車道供用開始に伴う救急業務を開始 東北自動車道相互応援協定 (盛岡、北上、胆沢、両磐)
昭和 53 年 2 月	職員定数条例改正 103 名となる
7 月	消防本部、署新庁舎落成、業務開始
昭和 54 年 4 月	職員 5 名採用 (条例定数 103 名、実員 102 名)
昭和 56 年 4 月	職員 3 名採用 (条例定数 103 名、実員 103 名)
昭和 58 年 4 月	職員 2 名採用 (条例定数 103 名、実員 103 名)
昭和 59 年 9 月	日本消防協会より救急自動車贈呈される (東和分署)
昭和 60 年 10 月	石鳥谷分署、車庫増築

昭和 61 年 4 月	職員 1 名採用 (条例定数 103 名、実員 102 名)
12 月	東和分署庁舎移転落成
昭和 62 年 8 月	日本消防協会より救急自動車贈呈される (花巻温泉分遣所に配置)
昭和 63 年 4 月	職員 3 名採用 (条例定数 103 名、実員 103 名)
平成 元年 10 月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ車贈呈される
12 月	職員定数条例改正 110 名となる
平成 2 年 4 月	職員 7 名採用 (条例定数 110 名、実員 108 名)
10 月	花巻南温泉分遣所庁舎落成、業務開始
平成 3 年 4 月	職員 2 名採用 (条例定数 110 名、実員 110 名)
平成 4 年 2 月	消防本部通信指令室改修
3 月	消防緊急通信指令施設導入 (Ⅱ型) 運用開始
11 月	職員定数条例改正 120 名となる
平成 5 年 4 月	職員 8 名採用 (条例定数 120 名、実員 114 名)
5 月	救急救命士資格取得者 1 名 (第 1 号)
11 月	花巻空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
平成 6 年 4 月	職員 4 名採用 (条例定数 120 名、実員 115 名)
10 月	組合発足 20 周年記念式典実施
平成 7 年 4 月	職員 5 名採用 (条例定数 120 名、実員 120 名)
	高規格救急自動車運用開始 (消防署)
9 月	石鳥谷分署及び大迫分署の救急車改造並びに高度救命資機材整備
10 月	石鳥谷分署、東和分署及び大迫分署の気象観測機器更新整備
11 月	職員定数条例改正 143 名となる
	岩手県緊急消防援助隊発足 (救急部隊登録)
	防災講演会開催 (社団法人日本損害保険協会共催)
平成 8 年 2 月	消防署に小型動力ポンプ付水槽車 (Ⅱ型) を更新配置。
3 月	東和分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 10 名採用 (条例定数 143 名、実員 127 名)
6 月	花巻空港福岡線開設
10 月	岩手県防災ヘリコプター応援協定
平成 9 年 2 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 7 名採用 (条例定数 143 名、実員 133 名)
10 月	石鳥谷分署に指令車を更新配置
11 月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型を更新配置
平成 10 年 3 月	大迫分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 7 名採用 (条例定数 143 名、実員 138 名)
7 月	消防本部に査察車を更新配置
12 月	消防署に災害対応特殊高規格救急自動車配置
平成 11 年 1 月	石鳥谷分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 2 名採用 (条例定数 143 名、実員 139 名)
12 月	消防署に救助工作車を更新配置 (社団法人日本損害保険協会寄贈)

平成12年 4月	職員4名採用（条例定数143名、実員142名）
12月	石鳥谷分署に水槽付消防ポンプ自動車A-II型を更新配置
平成13年 3月	防災講演会開催（花巻市等の共催）
4月	職員3名採用（条例定数143名、実員143名）
平成14年 4月	条例定数143名、実員142名
平成15年 4月	職員5名採用（条例定数143名、実員143名）
平成16年 3月	消防本部に高機能消防指令センター開所 花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を配置 消防事務組合発足30周年記念式典を実施 消防署に高規格救急自動車を更新配置 花巻空港化学消防自動車操作委託業務契約終了
4月	職員3名採用（条例定数143名、実員143名） 緊急消防援助隊登録（消火部隊）
平成17年 4月	条例定数143名、実員142名
10月	東和分署に高規格救急自動車を更新配置
12月	花巻温泉分遣所に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車II型を更新配置 大迫分署に水槽付消防ポンプ自動車II-A型を更新配置 花巻地区消防事務組合解散式を挙

(3) 花巻市消防本部の発足

年 月	記 事
平成 18 年 1 月	花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が合併し、新「花巻市」が誕生 花巻市消防本部発足（条例定数 143 名、実員 142 名）
4 月	職員 1 名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 19 年 4 月	職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 143 名） 緊急消防援助隊登録（消火部隊、化学車隊）
平成 20 年 3 月	消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型を更新配置
4 月	職員 5 名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
4 月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊）
6 月	岩手宮城内陸地震発生に伴い、相互応援協定により被災地に救急隊出動
10 月	花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 21 年 2 月	災害後方支援車を新規配置
3 月	花巻温泉分遣所 新庁舎落成
4 月	職員 6 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 22 年 4 月	職員 10 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
5 月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配置
12 月	花巻中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ－A型を更新配置 水槽付消防用自動 2 輪車を新規配置
平成 23 年 3 月	東日本大震災に伴い釜石・大槌地区に救急隊応援派遣 石鳥谷分署移転新築整備 消防署第 2 車庫新築整備 消防署救急専用室整備
4 月	組織改編により花巻中央消防署、花巻北消防署の 2 署体制とする。 職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配置
平成 24 年 2 月	花巻中央消防署に救助工作車を更新配備
3 月	大迫分署移転新築整備
4 月	職員 3 名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
12 月	花巻中央消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成 25 年 3 月	災害後方支援資機材搬送車を総務省消防庁より無償貸与
4 月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊） 職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 26 年 4 月	職員 11 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 27 年 4 月	職員 5 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
11 月	消防救急デジタル無線運用開始
平成 28 年 4 月	職員 8 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 29 年 3 月	花巻北消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型を新規配置
平成 29 年 3 月	花巻中央消防署に消防指揮自動車を更新配置

	4月	職員8名採用（条例定数148名、実員147名）
平成30年	2月	花巻北消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	職員4名採用（条例定数148名、実員147名）
	9月	北海道胆振東部地震に伴う緊急消防援助隊統合機動部隊及び後方支援隊の派遣
平成31年	1月	花巻北消防署に消防指揮自動車を更新配置
	4月	職員7名採用（条例定数148名、実員146名）
令和2年	2月	花巻中央消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	定数条例改正（148名から151名） 職員5名採用（条例定数151名、実員146名）
令和3年	3月	花巻中央消防署にはしご車を更新配備
	4月	職員6名採用（条例定数151名、実員146名）
	12月	花巻中央消防署及び花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配備 東和分署に救急室兼車庫を建築
令和4年	4月	職員5名採用（条例定数151名、実員150名） 花巻市消防山岳救助隊発足（21名任命）
	12月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配備
令和5年	4月	職員4名採用（条例定数151名、実員149名、うち救急救命士有資格者49名）

(4) 歴代消防長・消防署長

消防長

氏 名	在 職 期 間
菊 池 武	昭和49年4月1日 ～ 昭和54年3月31日
池 田 倉 蔵	昭和54年4月1日 ～ 昭和57年3月31日
柳 田 満	昭和57年4月1日 ～ 昭和61年3月31日
佐 藤 金 一	昭和61年4月1日 ～ 平成元年3月31日
本 舘 源 吾	平成元年4月1日 ～ 平成3年3月31日
村 田 祥	平成3年4月1日 ～ 平成6年3月31日
佐 藤 清	平成6年4月1日 ～ 平成8年3月31日
宮 森 誠 悦	平成8年4月1日 ～ 平成10年3月31日
平 賀 博	平成10年4月1日 ～ 平成12年3月31日
高 橋 文 雄	平成12年4月1日 ～ 平成14年3月31日
大 木 直 義	平成14年4月1日 ～ 平成16年3月31日
堀 岡 正 康	平成16年4月1日 ～ 平成18年3月31日
高 橋 敏 知	平成18年4月1日 ～ 平成19年3月31日
平 賀 敏 夫	平成19年4月1日 ～ 平成21年3月31日
伊 藤 勝 男	平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日
菊 池 定 雄	平成22年4月1日 ～ 平成24年3月31日
瀬 川 泰 正	平成24年4月1日 ～ 平成26年3月31日
石 崎 信 彦	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日
照 井 博 美	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日
小田島 満	平成29年4月1日 ～ 平成31年3月31日
笹 間 利 美	平成31年4月1日 ～ 令和3年3月31日
岡 田 弘 康	令和3年4月1日 ～ 令和5年3月31日
八重樫 晴 彦	令和5年4月1日 ～ 現在に至る

消防署長

氏 名	在 職 期 間
葛 尾 清 幸	昭和49年4月1日 ～ 昭和55年6月3日
菊 池 茂 夫	昭和55年6月16日 ～ 昭和63年3月31日
太 田 昭	昭和63年4月1日 ～ 平成2年3月31日
佐 藤 清 六	平成2年4月1日 ～ 平成5年3月31日
白 藤 敬 造	平成5年4月1日 ～ 平成8年3月31日
伊 藤 清 蔵	平成8年4月1日 ～ 平成11年3月31日

久保田 芳 男	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 12 年 3 月 31 日
古 川 浩	平成 12 年 4 月 1 日 ～ 平成 13 年 3 月 31 日
高 橋 功	平成 13 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
照 井 順 三	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
藤 井 直 美	平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日
伊 藤 勝 男	平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日
菊 池 定 雄	平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
畠 山 誠	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日

#### 花巻中央消防署長

氏 名	在 職 期 間
畠 山 誠	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
梅 木 富 雄	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
小 原 司	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
戸 来 清 彦	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
照 井 博 幸	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
小 原 卓 也	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在に至る

#### 花巻北消防署長

氏 名	在 職 期 間
(兼)菊 池 定 雄	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
石 崎 信 彦	平成 23 年 5 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
梅 木 富 雄	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
高 橋 千代志	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日
浅 沼 清 孝	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
田 井 正 一	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
多 田 成 樹	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
桐 田 守 朗	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日
藤 原 秀 孝	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
小 原 一 志	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在に至る